

# 研修参加報告書

令和 4年10月17日

会 派 名 公明党市議団  
会派代表者 鈴木 貢

(参加者：鈴木 貢、野下達哉、石原資泰)  
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 4年 10月 13日 ( 木 )
研修時間	9:30 ~ 17:00
研修場所	出島メッセ長崎
研修内容	第84回全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～  ・ 基調講演 株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEO 高田 旭人氏  ・ 主報告 長崎県長崎市長 田上 富久氏  ・ 一般報告 島根県立大学地域政策学部准教授 山形県山形市長 一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 田中 輝美氏 佐藤 孝弘氏 高尾 忠志氏

②

年月日	令和 4年 10月 14日 ( 金 )
研修時間	9 : 30 ~ 12 : 00
研修場所	出島メッセ長崎
研修内容	<p>第84回全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～</p> <p>・パネルディスカッション コーディネーター 東京都立大学法学部教授 大杉 覚氏</p> <p>パネリスト ゆとり研究所所長 野口 智子氏 山梨大学生命環境学部教授 田中 敦氏 NPO法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一氏 岐阜県飛騨市長 都竹 淳也氏 兵庫県伊丹市長 藤原 保幸氏</p>

# 研修参加報告書

①

年月日	令和 4年 10月 13日 ( 木 )
研修時間	9:30 ~ 17:00
研修場所	出島メッセ長崎
研修内容	第84回全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～
<b>■目的</b> 第84回全国都市問題会議、個性を活かして「選ばれる」まちづくりへ参加して、様々な先進事例、今後のまちづくりの在り方を学ぶため。	
<b>■内容</b> ○開会式：挨拶 全国市長会会長 立谷 秀清相馬市長  ○開催市市長挨拶 田上 富久長崎市長  ○来賓祝辞 大石 賢吾長崎県知事の代理の方が出席  ○基調講演 株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEO 高田 旭人氏「民間主導の地域創生の重要性」  ○主報告 長崎県長崎市長 田上 富久氏「長崎市の魅力あるまちづくり」  ○一般報告 ・「地域との新しい関わり方・関係人口」 島根県立大学地域政策学部准教授 田中 輝美氏 ・「ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～」 山形県山形市長 佐藤 孝弘氏 ・「交流の産業化」を支える景観まちづくり ～長崎市景観専門監の取り組み～ 一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾 忠志氏	

#### ■所感

最初のジャパネットホールディングスの高田社長の若き経営者の夢を実現するための行動力、考察力、創造力、先見力に共感と感動を頂きました。地元をこよなく愛する強い思いが、すごく大事なのだと感じました。また、江南市は長崎市のような観光地では無いが、その地域性をどう活かして、内外に発信するのが、今後の課題だと感じました。

今回、お聞きした内容を今後、少しでも江南市の将来のビジョンの構築に活かしていきたいと思いました。

# 研修参加報告書

②

年月日	令和 4年 10月 14日 ( 金 )
研修時間	9:30 ~ 12:00
研修場所	出島メッセ長崎
研修内容	第84回全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～
<b>■目的</b> 第84回全国都市問題会議、個性を活かして「選ばれる」まちづくりへ参加して、 様々な先進事例、今後のまちづくりのあり方を学ぶため	
<b>■内容</b> ○パネルディスカッション コーディネーター1名と5名によるパネルディスカッション ◇「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ ・それぞれの地域で醸成されてきた、根っこのある地域価値を再確認しつつ、そこを起点にして、これからの未来図を地域で思い描き、その実現を試みようとする、価値実現のプロセスだと定式化して考えることができる。 ◇人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ～「雲仙人プロジェクト」の試み～ ・地域おこしを頑張る人は既にいる。 ・人と人が出会うと、新しいことが起きる。 ・オンラインでもつながりは育つ ・あの人どうしているかしら、の関係を大事にする。 ◇ワーケーションの意味の拡張と変異 ・ワーケーションの発祥と国内での知名度の高まり ・日本のワーケーションの出現と分類 ◇人は人に会いに行く！～「まち歩き」で見つけた“まちのつくり方”～ ・長崎さるく博の開催 ・まち歩きガイドの心得 ・何度も訪れたい場所になるために ・まちぶらプロジェクト  ◇人口減少先進地の挑戦～ファンと共に取り組むまちづくり～	

- ・ 飛騨市ファンクラブの仕組みと活動
- ・ 会員獲得の努力と活動の拡大
- ・ ファンクラブから生まれた「関係人口」
- ・ 関係案内所「ヒダスケ！」の活動
- ・ 関係人口の理論とメカニズム

◇清酒発祥の地・伊丹～酒と文化が薫るまち～

- ・ 日本遺産認定
- ・ 市立伊丹ミュージアム開館
- ・ にぎわい創出・何度も訪れたいくなるまち

## ■所感

パネルディスカッションをお聞きして、雲仙の取組のように、そこに住んでいる人の得意分野を活かす試みであったり、飛騨市のように、高齢化、人口減少といったどこも抱える全国的な問題を逆転の発想で、飛騨市はどこよりも先駆けて、この問題をすでに受けているからとポジティブに今の課題に取り組む姿勢になるほどと思いました。

どのパネリストもどうしたら、何度も訪れてみたいと思ってもらえるのか？そのテーマに対して、様々なアイデア、特に若い人の意見を取り入れていく姿勢もすごく大事なことだと感じました。

今回、学んだことを、これからの江南市の魅力について、考えるために活かしていけるように取り組んでいこうと思いました。